舘花 一仁 議員

（清風会）

質問した項目

- 災害対策について
- 防犯・交通安全について
- 支所機能について

災害対策について（市道路線の崩落箇所の早期復旧）

問 8月15日からの大雨により洗掘された「米代川堤防1号線」の復旧スケジュールについて伺う。

答 昨年、そして今年の5月、8月と大雨のたびに堤防が洗堀されている状況であります。

このことから、河川管理者である県では、右岸側の堤防整備を計画し、計画区間205メートルのうち今年度は、下流側100メートルについて工事を発注しており、工法も従来の石張りよりも強固なコンクリートブロック張りを採用すると伺っております。

問 同じく、「米代川堤防3号線」の復旧スケジュールについて伺う。

答 8月15日の大雨により浅利佐助商店前の堤防が洗堀され、舗装路面が60メートルにわたり崩落したため、現在全面通行止めの措置を行っております。

河川管理者である県からは、国の河川災害復旧事業により復旧を進めると伺っており、国の災害査定は10月以降になると見込まれますが、この路線は交通量の多い主要路線であるため、早期復旧を県に強く要望してまいります。

災害対策について（移住者への災害対応）

問 移住者等への災害対策について、インバウンド効果により、本市にも外国人観光客が多くなってきているが、観光時の災害対応はどのように取り組んでいるのか伺う。

答 市の防災メールや国内の各携帯会社を通じて配信するエリアメールなどは、外国人に対して十分に情報を伝えられない場合があるため、国が開発した外国人観光客向けの災害時情報提供アプリ「セーフティ・ティップス」の活用が有効であると考えております。また、鹿角広域行政組合消防本部では、今年6月から外国人の119番通報等に対応するため、多言語通訳サービスの運用を開始しており、同アプリの活用とあわせて、各事業者に周知してまいります。

児玉 政明 議員

（鹿真会・公明）

質問した項目

■災害に強い地域づくりについて■公共施設の利活用について■スキーと駅伝のまちの推進について■小中学校の熱中症対策と部活動の指導環境について■関係人口について

中学校の部活動指導員について

問 中学校教員の部活動指導による時間外勤務の対策と、部活動指導員制度の活用は今後必要になると思うが、導入の可能性について伺う。

答 各学校において部活動に係る活動方針を作成・運用し、平日は2時間程度、土日は3時間程度の練習時間とすること、また、休養日は週2日以上で、平日1日、土日で1日以上とする基準とし、運用後の今年6月の最終退勤時刻は2年前と比較して27分早くなっていることから、成果が表れてきているものと考えております。

また、部活動指導員制度の活用につきましては、技術的な指導のほか、指導内容や生徒の様子についての情報交換や事故が発生した場合の対応等、日常的に担当教諭などと十分な連携を図る必要があり、適材の確保や任用、災害補償等を定めるなどの体制整備が必要で、引き続き情報収集と県内市町村の動向を注視しながら、導入に向けた検討を進めてまいります。

関係人口について

問 関係人口モデル事業を利用して将来的に本市が目指す姿と、どのような方々を関係人口としてカウントしていくのか伺う。

答 本市に継続的に関わり、定期的に訪れて農作業や地域行事などに貢献したいという意欲がある方々を、共通のルールで運営される鹿角家（かづのけ）を構成する家族として呼び込み、首都圏での家族会議や市内での実家暮らし体験ツアーなどを開催しながら、鹿角家の証となる家族証500枚の発行を目指し、SNS等を利用し、広く市外へ情報発信してまいります。将来的には鹿角家を核として、体験活動のできる交流拠点の整備やネットワークの構築により、地域住民とふれあう機会をふやし、本市が抱える課題や問題の解決に多くの方々から多様な形で関わっていただきながら、関係人口の増加を図ってまいります。